

# 会議報告書

会議名	第3回消防委員会
日 時	令和6年1月24日(水) 午後6時00分～7時15分
会議場所	防災センター2階
出席者	消防委員 6名 総務部長 団長 事務局(地域防災課職員)3名
議題 及び内容	司会 事務局  1 開会  2 審議  正副団長検討事項について、次回中間答申を行う  アンケート内容は一部修正を施すことで承認  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">審議内容は別紙審議質疑のとおり</div>  3 その他 次回委員会は、令和6年3月8日(金)18時からに決定   4 閉会

## 2 審議

### （1）消防団員の処遇を改善し、団員を確保するための方策について

#### 会長

これより審議に入りたいと思いますが、はじめに今年度の審議事項等について説明をお願いします。

・配布資料について説明(事務局)

#### 会長

ご意見等ございますか?

#### 委員

他の市町村の各部の定員を踏まえて部の統廃合を進めていかないと、現状のままだと多くの部が対象になってくると思うのですが。

#### 事務局

他市町村に応じて部の割当範囲も変わってくると思いますが、現在あきる野市はポンプ自動車の部20人、可搬ポンプの部15人としているところを、次の改選期にポンプ自動車の部18人、可搬ポンプの部12人に減らして、その減少分機能別団員の枠を広げる予定です。このため、現在の各部の定員を1割程度カットした上で4割に満たない部を統廃合の対象にすることになります。また、事前に各分団に統廃合の条件等を知らせることで、団員を確保できる期間を設けたいと考えております。

#### 会長

次回以降、分団のあり方についても議論していくかなくてはならないと思います。人口など現実的な部分も含めて検討する必要があると思います。

#### 委員

アンケートの質問内容に「高齢者雇用安定法の改正により」との文言がありますが、これと消防団に何か関係があるのですか?少し違和感を感じたのですが。

#### 事務局

直接的に関わりがあるわけではないですが、社会情勢的に定年が延長されているので、消防団も5歳以上定年を延長させたいという趣旨になります。

#### 委員

部の統廃合をするとして、出動範囲も見直すことになるのですか?あきる野市の場合は面積がありますが、他の面積が小さい自治体(国分寺、小金井等)は出場範囲が全市とされているところもある。また旧村にしか分団がないので、国立市だと南部線の南側に詰所はない。このようなバランスの悪さは、あきる野市にはないが、出動範囲の見直しは統廃合に合わせていく必要があると思います。

#### 事務局

出動範囲は、統廃合に合わせて検討していきます。仮に5分団、6分団、7分団を統合するとして、出動範囲もそれに合わせて見直していきます。

#### 委員

資格要件のところに、大学がある自治体は「在学」とあるが、分団によっては大学生も入っている。これから8割の高校生は大学に進むことになるので、要件に「在学」とあえて加えるべきではないか。あきる野市にも亜細亜大学の合宿所もありますし。

委員

言葉として入れたいのかもしれないが、一般的に大学がある自治体のみ「在学」としているのではないか。ただ、学生団員見える化するという点は賛成します。

委員

足立区では大学が多いので、その学生が多く入団したことで充足率が高まったという話も聞きました。23区では学生団員も多いです。

事務局

学生団員について、条例に落とし込むのではなく、ホームページ等での周知も出来るのかなと思います。方法については検討させてもらえばと思います。

委員

消防団は機能別の定年が60歳までになることが知れ渡っているので、現役団員が45歳位までになることを覚悟している。なかなか18歳から入団する団員もいないと思うし、30代の入団者が多いのではないか。結婚もそうですが、入団の年齢が遅れている分、退団の年齢もずらしていく必要があるのではないか。次回までに入団者の年齢を資料として出してもらいたい。

会長

現役の団員も理解はしているのではないか。

団長

(定年延長の) 覚悟はしているようです。

委員

定年の引き上げ方は段階的でなくていいのですか? メリット・デメリットあると思うが。仮に一気にあげるとすると、その直前にいろいろ不利益が生じるのではないか。

事務局

今は案の段階なので、そこはまた検討していければと思います。

会長

今の定年は40歳と41歳ですが、延長すると45歳、46歳になるのですか?

会長職務代理者

偶数年を延ばすのか、奇数年を延ばすのかで改選期の上組、下組のずれが生じる可能性がある。

委員

すると、改選期に合わせて段階的に延長する必要がありますね。

委員

つまり、定年時に退団か機能別団員になるか現役団員として残るかの選択制になるということですね。昼間市内にいる団員は現役団員として残ってほしいと分団からはお願いされるかもしれない。

委員

団員確保策も議題だと思いますが、予算にからむ話ですが活動費を増やしてほしいという要望がある。勧誘するのに食事代を全て自腹で出させるのではなく、活動費から支出出来るよう増額出来ればと思います。今は個人支給で分団に入るお金が少なくなっているとのことですので。

事務局

検討させてもらえばと思います。

委員

団員確保について、前団長を相談役にして分団で新入団員数を競わせて、一番多い分団に表彰状を出してもいいのではないか。

### 事務局

懸念事項として、6分団や7分団のようにそもそも人口がいない地区もあるので、一緒に競わせるのは難しいのではないかと思います。

### 委員

そういった人口要件も勘案して、競わせればいいのではないか。

### 会長職務代理者

在団時に新成人を対象に何か勧誘が出来ないか検討していた。市サイドも協力してもらって進めてもらえばと思う。

### 委員

本庁でも各自治会町内会と連携して、本庁職員、消防団員の勧誘を行っている。職務代理者の言う通り、足を使うのは大切だと思う。これについては、消防署も協力できる。ホールなどで行う市のイベント等の冒頭で勧誘させてもらうのも有効だと思う。その時の印象的な写真を広報に出すなど戦略的な広報アプローチもあると思う。

### 委員

自衛隊も人集めが大変だという。聞くところ、本人ではなく親にブロックされることが多いという。これは消防団員にも共通している。一方、アメリカだと兵隊はエリートだということで人気があるという。最近は、競馬、競輪もイメージアップの効果で、昔はおじさんばかりだった入場者も家族連れが増えている。消防団も「消防団に入ると、格好いいよ。エリートだよ」というイメージ作り、その下準備が必要ではないか。

### 事務局

今は消防団の広報部で団員募集の広報の仕方について検討していて、その中で頑張っている団員を紹介するSNS記事の準備をしています。こういった所からイメージアップが図れればと考えています。

### 会長職務代理者

あとイベント。一昨年行った消防団フェスタ、これを継続的に開催してほしい。そこで団員の格好いい姿を見せられればいいと思う。

### 会長

会場がサマーランドだと目立たないのではないか。イオンとか人の集まる場所でもいいかもしれない。

### 委員

定年延長については、一気に上げるのか段階的に上げていくのかは、どういう風にしていく考えですか？アンケートの文言にも入ってくるので、検討する必要があると思いますが。

### 事務局

アンケートの内容については、決定事項ではなく、現団員の意見を吸い上げることが目的ですが、誤解のないように対応していきたいと思います。

### 団長

アンケートなので、段階的にしてほしいという意見も上がってくるかもしれない。